

# スポーツのチカラ まちのミライ

vol.22

2030北海道・札幌オリンピック・パラリンピック冬季競技大会が実現すると、私たちの街・札幌はどのような姿へと変貌を遂げるのでしょうか？ さっぽろグローバルスポーツコミッションが運営するスポーツボランティアコミュニティ「スマイル・サポーターズ」会員の鹿野信隆さんにお話を伺いました。



誰でも気軽に始められる社会参加  
2030年冬季オリパラ招致を機に  
ボランティア文化の輪を広げたい

スポーツボランティアコミュニティ  
「スマイル・サポーターズ」会員  
池田煖房工業株式会社 原価管理部 部長  
鹿野 信隆さん

1966年生まれ、札幌市出身。市内の建築設備会社に勤める傍ら、2017年より札幌市のスポーツボランティアコミュニティ「スマイル・サポーターズ」に登録し数々の競技大会に参加。趣味はサッカー観戦、山スキー・ハイキング・MTBなど。

地域のために踏み出した一歩  
ボランティアで広がる新たな世界

私がスポーツボランティアを始めたきっかけは、「雪育」という出前授業の記事を目にしたことでした。地元のスキーヤーたちが、雪離れが進む札幌の子どもたちに雪文化を遺そうと取り組む姿に感銘を受けて、自分も地域のために何かできることはないかと考えたんです。2017年冬季アジア大会を機に発足したスポーツボランティアコミュニティ「スマイル・サポーターズ」に登録し、現在は余暇を利用して様々な競技大会のお手伝いをしています。

誰にでもできる地域貢献  
ボランティアをこの街の文化に

実際に活動を始めて感じたのは、年代・性別・国籍などの垣根を超えて様々な人と交流することの面白さと楽しさ。また、立場や背景が異なる人々の意見を知ることによって自分の視野が広がり、新たな気づきや学びを得られたこともうれしい驚きでした。ボランティアと言うと一般的に「自己犠牲」や「奉仕活動」のイメージがありますが、本来の語源は「志願者」であり、誰にでもできる地域貢献・社会参加の手段のひとつです。ボランティアに興味はあるけれど心理的ハードルが高いという方にとって、札幌市が招致を目指す2030年冬季オリパラは、未経験の方でも気軽に最初の一步を踏み出せる絶好の機会だと思います。今回のオリパラ招致を機に若い世代の方々にもボランティアの輪が広がり、この街が誇る文化のひとつとして次世代に遺せたら素敵ですね。

スマイルサポーターズの登録はこちら ▶ <https://www.sapporosport.org/volunteers/>

問い合わせ先 札幌市スポーツ局招致推進部調整課 ☎011-211-3042



食や自然など多くの魅力に恵まれた  
「笑顔になれる街」さっぽろをイメージしたロゴです  
問い合わせ先  
札幌市総務局広報部広報課 ☎011-211-2036